

令和7年度 小平市立学園東小学校 授業改善推進プラン 3年

学年	学年の指導方針	改善方法・改善策	評価方法	12月	3月
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを中心をはっきりさせて話したり、聞いたりすることができるようにする。 ・定期的に漢字を行う時間を取り、集中して学習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話型を示して他者の受け取り方を意識させたり、その効果を指導したりしていく。 ・授業内で漢字の学習に取り組む時間を取る。覚えたり、書いたりするコツを教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表メモ、発表の様子などで評価する。 ・漢字の小テストなどで確認する。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りや簡単な資料活用の力を付けさせる。 ・問題解決型の学習への定着を図り、主体的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」「調べる」「まとめる」の流れを提示しながら、資料の精選や発問の精査をしていく。 ・調べ学習や授業を通して、写真から情報を集めたり、資料を活用してまとめたりする習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワークシート、テスト、発言で評価する。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で算数の学習がつけられるよう指導する。 ・思考・判断・表現する力を身に付けられるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、具体物を使うなどしてイメージしやすい活動を取り入れ、既習事項の定着を図る。 ・ペアやグループで自分の図を説明させ、多様な考えを比較・検討する機会をつくる。 ・ドリルやプリントで習熟を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ドリル及びテストやプリントで評価する ・学習態度の観察で評価する。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察する視点や考える視点を明確にしてから取り組むように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察カードや実験結果記録カードを使い、理科の言語活動を数多く取り入れ、その能力を養う。 ・自分の日常生活で起こる事象と結び付けて考え、考察につながるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察カードや考察内容、授業中の発言を評価する。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ひびきのある声のイメージづくりや演奏に必要な姿勢、音楽記号・用語などについて年間通して指導し、基礎的基本的な技能の習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のリコーダーの運指を毎時間掲示する。 ・児童が主体的に取り組めるよう十分な活動時間を確保する。 ・範唱によりひびきのある声のイメージを提示する。 ・新しい曲で出てきた用語・記号について、曲を演奏する都度確認させ、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏の聴取や実技テストや提出物等で評価する。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・道具類の安全安心な使い方を指導し、制作に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導を丁寧に行い、活動の中で創造的な技能を十分に扱えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作過程や作品から、意欲や技能を評価する。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい運動やゲームでは、できるようになるために頑張ることを意識しながら取り組むように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のコツや楽しさなどを全体で共有しながら、自身の課題を選択できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード、発言で評価する。 		
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で課題を発見する経験を積み、調べ学習へ取り組むことができるようにする。また、多くのまとめ方を体験し、調べたことを自分らしく表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の「引用」「仕事のくふう、見つけたよ」の授業などと関連させて、調べ学習のポイントやまとめるポイントをおさえ、調べ方の指導をする。 ・社会科の単元のまとめの中で多様なまとめのパターンを経験し、教科横断的にまとめる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合ファイル、成果物（ポスター・新聞など）、振り返り、発表で評価する。 		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の一員として、協力してよりよい生活を築こうとすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や自分の考えを出し合い、楽しくよりよい学級生活を送ることができるような場面や時間を設定する。その際に、話し合いの目的（意味）について確認し、俯瞰した合意形成ができるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動、係・当番活動の様子の観察、振り返りで評価する。 		
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が表現活動を楽しむことができるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム化するなど活動を工夫して楽しく取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、発表で評価する。 		
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・教材への理解や内容に合った振り返りができるように、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫や範読の質の向上など指導の工夫をしていき、児童が教材への内容の理解や没入感を味わえるようにする。また、児童が自ら、日常生活の中から課題を見付け、道徳的な心情を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言、ワークシートで評価する。 		
I C T	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末の操作が分かり、いろいろな場面で使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字表を見たり、友達に聞いたりすることを肯定的にとらえ進んで学習できるようにする。学習者用端末でタイピングソフトなどを活用し、楽しみながら操作やローマ字の活用につながる工夫をすすめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検索、ロイロノート等で入力できているかで評価する 		